



# 開成隣だより

令和6年1月9日  
第9号  
昭島市立成隣小学校  
校長 松川 靖弘  
TEL 042-541-0068



HPはこちら

## 地域×学校

### 校長 松川 靖弘

2024年、辰年がスタートしました。旧年中は本校の教育活動へのご理解とご協力をありがとうございました。辰年は活力旺盛な年、大きく成長し形がととのう年なのだそうです。地域・保護者の皆様、子供たちにとって、健やかで実り多き一年となりますことをお祈りいたします。教職員一同、今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

### 活力旺盛の年 地域と共にある学校について再考する

干支の中で辰(竜)は唯一想像上の神獣で、その姿は、「竜に九似あり」といわれるように、様々な生き物の特徴が集まった神獣です。角は鹿、頭は駱駝、目は鬼、身体は蛇、腹は蟹(「シン」蟹気楼を作り出す伝説の生き物)、鱗は鯉、爪は鷹、掌は虎、耳は牛に似ており、長い髭をたくわえ、あごの下に1枚だけ逆さに生えた逆鱗(げきりん)があるそうです。また、竜に関する神話や熟語には活力や大きな成長を表すものが多くあります。今年の干支にあやかり、様々な個性をもつ子供たち一人一人が健やかに成長し、実り大きな一年となるよう教育活動を充実させてまいります。さて、職員室では、この休み明けから令和6年度の教育活動に向け準備を進めております。その一つに「学校運営協議会」の設置があります。これは、地域とともにある学校について考え、地域・保護者の方々とともに教育活動をさらに充実させていくという昭島市教育委員会の施策に基づくものです。創立150周年の節目を越えて、その先に続く地域とのつながりや学校の役割を再考する好機となるよう取り組んで参ります。



### 令和6年能登半島地震 被災された方々、救援・支援・復興活動に従事されている方々へ 心よりお見舞い申し上げます

年明けに起きた令和6年能登半島地震。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々、救援・支援・復興活動に従事されている方々へ心よりお見舞い申し上げます。災害時の避難の様子や避難所生活の様子を報道で見聞きするたびに、「地域住民のつながり」の大切さと「小さな時から一人一人が身に付けている集団生活の行動様式」の大切さについて考えます。これらが、「減災」や「共助」を支えていると考えるからです。例えば、小学校の集団生活における行動様式、「協力する」「静かに話を聞く」「整列する」「順番を守る」「みんなで使うものは大切に扱う」などは、これからも世代を超えて身に付けていく行動様式や価値観だと改めて思います。そして、「減災」「共助」につながる学校の役割として、これからも子供たちに身に付けさせていきたいと考えます。

新学期を迎えるにあたり、教職員と本校の災害時対応マニュアルを再確認し、登校後、子供たちが不安に感じていないか健康観察するよう指示いたしました。連日の報道、特にSNSによる視聴者映像の中には生々しいものもあり、お子さんによっては過度の不安を抱くことも考えられます。視聴しているお子さんの様子をごみください。様子がおかしいと感じたら、いったん映像を切り抱きしめるなどの対応をお願いいたします。